

目 次

・総合研究報告	
男性退職予定者を中心とした	
自律的社会支援実現に向けたケアウィルモデルの实践と検証	1
研究代表者 藤森 純子(富山大学)	
-1. 社会的 QOL を重視したケアウィルモデルと	
退職者世代のセカンドライフキャリア形成プログラムの検証	15
研究分担者 立瀬剛志(富山大学)	
-2. ケアウィル講座のプログラム達成度評価	31
研究分担者 中森義輝(北陸先端科学技術大学院大学)	
-3. 高齢者における老後の準備と将来の不安との関連	49
研究分担者 新鞍真理子(富山大学)	
-4. セルフ、ネイバーフッド、コミュニティからみたケアウィル	
その概念を实践的に展開するために	67
研究分担者 鏡森定信(富山大学)	
・研究成果の刊行に関する一覧表	79
・研究成果の刊行物・別冊	79
・附録	
-1. 対談「ケアウィル活動の可能性」	81
-2. 私におけるケアウィルの意味	95
-3. ケアウィル講座の構成	97
・総論：現代社会の豊かさと健康	
・各論：日々の暮らしにおける家族という関係性	
・各論：社会の窓口	
・ケアウィルプランニング	
-4. ケアウィルプランニングシート	153